ノン役こそランクを獲れ！

こんにちは！立教大学の木島康平(きじまこうへい)です。みんなからは“こーへー”って呼ばれてます。よろしくね☺　今回のレクチャーは、「ハンドリングとはこうやるべし！」「コンパリとは？」などといったある意味技術的な側面について述べたものではなく、経験やマインドセット的な面においてのレクチャーになってます。だから、これ読んでもうまくなるとかではないのでそこは了解してから読んでください。では、始めます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

構成

1.　役職者ではない立場からランクを取るという意義

2.　何故春セミ期モチベーションを保てたか

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

1.　役職者ではない立場からランクを取るという意義

本稿目では役職者ではない立場(以下ノン役)でランクを取る意義についての僕の意見を述べていきます。僕の答えは「自分にとって結果を残すためと、セミナー、役職者への恩返し、そして周りを驚かせること」です。詳しく説明していきます。正直これ読んでるってことは、みんなランク獲りたいよね？(笑)その理由ってなに？セミナーのため？地位のため？オーソリつけるため？　それぞれ個人的な理由でランクを目指してると思うし、正解なんてないんだけど、ぶっちゃけ僕は最初“自分のため”した。「大学生活で、なにかに打ち込んで結果残したっけ俺。あれ？残してねぇ！結果に弱いとか嫌だ！どうしよう！あ、、、ランク獲ろう♡」こんな気持ちで獲ろうと決めました(笑)単純(笑)自分でもびっくり(笑)　でもね、それだけじゃないんだよね。“セミナー、役職者への恩返し”ってのもあってさ。個人的に、大学生活は好き勝手色んなことやってきたのね。そんな自分がセミナー、役職者に恩を返そうと思ったきっかけは、関西遠征でした。ちなみに、僕のディスカッション人生ってこんな感じ

1 年生：めっちゃ頑張る!負けねぇ!

2 年生：ディス？なにそれ。俺飽きた。

3 年生：ランク獲るわ。ディス楽し！

一年生のころは結構がっつりディスしてて、めちゃくちゃ楽しんでたんだけど、、、関西遠征終えてから一気に冷めちゃって。約一年くらいちゃんとやろうとしなかったなんだよね。でも、そんな僕にも転機が訪れます。二年生の時の関西遠征でのカウンターテーブルで、同じ大学のチーフと一緒だったのね。したらさ、チーフがディスすっげーうめぇの。まじで。びっくりしちゃってさ。一年の時競ってた同期がめちゃくち

ゃうまくなってて、悔しいと同時にうれしくて。で、その時にふと思ってさ。「自分が好き勝手やってきた期間、その分役職者は責任を背負って、本気でやってきてたんだなぁ。」って。それで、「彼等に少しでもなにか返せないか。なにかのカタチで恩を返せないかな」って考えたとき、一番良いと思ったのが“ランクを獲ること”だった。というのも、うちのチーフが掲げてたヴィジョンが「強い立教を創る」で、それに貢献するにはランクを獲るしかない!　って思ったからなんだよね。やっぱり単純(笑)　同期が、自分よりはるかに高いところにいるのを実感したとき、もし君がノン役でなにか恩を返したいと思った時、その時はランクを獲れば良いと思います。ランカーテーブルで一緒になったり、ランカー発表で彼等と一緒に喜ぶのは他には代えがたいモノがあるからね。是非これを読んでいる君も、あの気持ちを味わってほしい。

ここまで、“自分のため”“セミナー、役職者のため”ときたけど、最後はこれ。“周りを驚かせるため”もし君がノン役で、あまりディスに打ち込んでこなかったとしよう。でも、心機一転、春セミ期めっちゃプレパして、最後に結果を残したとき。周りが驚かないわけないよね。いわゆる上位層プレイヤーの名前が並んでるランカーテーブルに自分の名前があって、みんなが「え？あいつ誰だよ!?」ってなってるところを想像してほしい。ましてやランクを獲ったりしたらもう大変。一気に地位が手に入る。こんなにワクワクする話はないよね。だから、ランクを獲る。単純だけど、その分実現したら想像を超える感動と達成感が待ってるから、もし目指すなら本気で打ち込んで全てひっくり返してやれ！なにごともそうだけど、始めることに遅すぎることなんてことないから！

以上の、**「自分のため、セミナー、役職者へ恩を返すため、周りを驚かせるため。」**これが僕が思う役職者ではない立場からランクを獲るという意義です。

2. 何故春セミ期モチベーションを保てたか

これは二つあって、“負けず嫌いな性格”と“目指す先輩がいたから”です。僕自身、結構な負けず嫌いでした。この性格を刺激されるのは、試ジャッジの時。開始前に会場いくと、毎回目に留まる集団がいたんだよね。そう、“上位層プレイヤー集団”各大学のチーフとか、ランカーとか、うまいって言われてる層の集まり。みんな雑談を交えながら、強者のオーラを漂わせてる。そして試ジャッジが終わればまた集まり、今日のテーブルのこととかを話す。僕はずっとボトムだったから、その集団が本当に羨ましくて、その中に入りたかった(笑)　友達としては仲良くても、ディスでは遠い存在の彼等が羨ましくて、「ぜってぇ俺も入る。ってか抜かす。」ってメラメラ燃えてた(笑)あと、当時の僕はいろいろあって出席率も悪く、小セミすら出てなかったから常にボトムで。“一位を取らなきゃ帰れまテン‼”的な状態が最後まで続いたから、やらざる

をえない状況でもありました。いやぁ、つらかったね(笑)　でも、不思議と本番ではうまくいく自信があったのと、ランク獲れる気がしてたから、不安はあまりなく目の前のことに打ち込んでいました。「絶対こいつには負けねぇ。こいつらには負けたくねぇ。負ける気がしねぇ。」こーゆー単純だけど強い思いを持って居ると、モチベーションを保てると思います。

さて、二つ目の“目指す先輩”について。みんなこの時期、個人プレパをお願いすると思う。自他大学問わず、うまくなるためにお願いするよね。僕は少し特殊で、他大学の先輩に二回個人プレパしてもらっただけでした。今思うと少ないね(笑)で、その先輩っていうのが、僕が“目指す先輩”でもあったわけです。その先輩に、リブラオープンの時に「お前ならランク獲れると思ってるから。やるなら獲って来いよ」と言われ、火が付いたのを覚えてます。(その先輩はアッセンブラーでした)普段から飲みにつれて行ってもらったりして仲良くさせていただいてた分、まじめなトーンでそう言われたら燃えない方がおかしいってやつだよね(笑)　そこから、自分で考える時間を大切にして、本当に大切だと思うことについてだけ彼に聞きに行ってみてもらっただけでした。ここで大切なのは、**自分の頭で考えることを最も大切なこととして捉え、個人プレパの量よりも質を重視すること。**実際時間もないし、今からランク目指すなら手あたり次第にやっても間に合わない。だから、**本質をとことん見つめて思考し、最短ルートをたどる**必要がある。そのために、個人プレパを最低回数最大効用で行うことが大切。こんな感じの春セミの戦略は、今回はかかないので個人的に聞いてください！本書末に連絡先載せておきます。話はそれましたが。結局は他のやつらに負けたくない、自分も上位層に入りたいっていう欲求と、目指すべき人がいてその人に近づくためにランクと獲るのは当たり前って状況を作ればモチベーションなんてぶれたりしません。**高く、そして強い目標が**あれば、人間は努力を惜しまないから。モチベーションが保てないとかいう前にそこをじっくり固めることをするべきだと、僕は思います。僕はそれで成功してきました。

あ、これは番外編で、言霊として「俺はランク獲るよ」って言い続けることが大切でもあると思います。とにかく口に出すことで自信を持てるようになります。

「負けず嫌い、目指す先輩」これがモチベーションを保てた要因になります。

さて、長々と書いてきましたが、僕はノン役がランクを獲ることは非常にロマンありやりがいがあることだと思います。チェアパーソンになったとき、役職者に並んでノン役チェアパって結構気分良いもんだよ(笑)今から、たった 2 ヶ月。このたった 2 ヶ月、本気になるだけでディスカッション界における地位と名誉が手に入るんだから、こんなおいしい話を食べないわけにはいかないよね。春セミで、ランカーテーブルにノン役がいたり、「こいつ誰だよ!?すげぇな‼」って思えるプレイヤーがいることを楽しみにしています。

上位層にいないけど、今から本気でランクを獲るために頑張ろうと思ってる君。

全部ひっくり返して、結果残して来い！

みんなからの良い報告を待ってます☺

立教大学 ESS ディスカッションセミナーメンバー
木島康平
Line:kk00k0k0